



# 長崎市立三原小学校

寄り合って、寄り添って、みんなで育て、みんなで育つ～

「笑顔いっぱい！真剣いっぱい！感動いっぱい！の三原っ子」

## MIHARA TIMES

令和6年 2月 1日発行

文責 校長 宮原 友彦

### ◆ 能登半島地震義援金へのご協力、ありがとうございました。

被災から1か月がたちましたが、能登半島地震は、水道、ガス、道路などのライフラインやインフラが壊滅的な被害を受けていること、雪の影響と、なかなか復旧支援が進まず、過酷な状況が続いています。

三原小でも、1月22日(月)～26日(金)に義援金を募り、子どもたちと保護者の皆様のお気持ちとご協力のおかげで、

**22,836円**

もの義援金を集めることができました。

これは歳末助け合い運動の募金額の3倍になります。これだけの額がわずか1週間で集まったことから、やはりこの地震への関心の高さが伺えます。



募金活動には、挨拶運動で頑張っ生が進んで引き受けてくれました。この義援金は、日本赤十字社を通して、被災地に送られます。ご協力ありがとうございました。一刻も早く復興が進むことを心から願って、これからも関心を払っていきます。

### ◆ 給食週間の取組

今年も1月24日(水)～1月30日(火)の期間で、給食週間が行われました。当初、戦後の栄養失調に苦しむ子どもたちを救うために始まった学校給食も、今では役割を変え、主に食育を目的に実施されています。

三原小は北部給食センターから給食を運んでいただいているため、配膳員の木村さん、西浦上小の井上栄養士をはじめ、牛乳屋さん、パン屋さん、センターの調理員さんへ感謝の気持ちを伝えることができました。



## ◆ 第3回なかよしタイム

第3回のなかよしタイム(縦割り遊び)が、1月30日(火)に実施されました。子どもたちも楽しみにしていた様子で、元気いっぱい6年生をはじめとしたお兄さん、お姉さんたちがリーダーシップをとりながら、どの学年も楽しくなるように配慮しながら楽しんでいました。こういう活動の中でしか育たない力もあります。



ようやくコロナの影響も少なくなり、子どもたちの社会性を高める活動が行えるようになってきました!

## ◆ GIGA は国境を越える～イタリア編～

全国7校のうちの2校として、長崎市から三原小と小ヶ倉小が選出され、1月29日(月)にイタリア大使館との交流をオンラインで行いました。



子どもたちは事前にイタリアについて自分で調べて質問や疑問を出していました。

しかし、イタリアの子どもたちが夏休みが3カ月あったり、毎日の授業が5時間しかなかったり、休み時間には自由に持ってきたお菓子を食べてよかったりと、自分たちとは異なる学校生活を送っていることを知り、「いいなあ」という声が思わず漏れていました(^-^); 国際理解はまず自分と相手を知り、その違いや共通点を認めることから始まります。わずか45分間ではありましたが、貴重な機会となりました。

### 三原に吹く風

### 宮原のつぶやき

#### 12名の**ふわふわ言葉マスター**誕生!

私が三原小に赴任して、あっという間に4年がたちました。あいさつや元気な姿がすてきな三原っ子ですが、ずっと気になっていたことがありました。それは、「言葉づかい」と「呼び捨て」です。その解決のために、運営委員会から提案があり、11月末から1月末まで、「ふわふわ言葉マスター」についての取組がありました。昨日までが締切だったのですが、かなり厳しい基準ではあったようですがクリアしたのは、1年生が1名、4年生が2名、5年生が5名、6年生が4名の計12名でした。男子はなんと1年生の1名のみ!! **「言葉の乱れは心の乱れ」**と言います。これを多いと見るか少ないと見るか…。今年、教師1年目の田中先生が言っていました。「〇〇『さん』のあとには汚い言葉はくっつかない。」なるほど! 真理ですね。